

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	特定非営利活動法人ミラマーレ・オペラ
公演団体名	ミラマーレ・オペラ

内容
<ol style="list-style-type: none">1. 間近でオペラ歌手の生の歌声で1~2曲披露します。発声と表現法のワンポイント・レッスンなども織り交ぜます。2. オペラ「おこんじょうるり」の内容説明と、参加生徒の役どころと登場シーンの説明をします。3. キャストと一緒に生徒の登場シーンを一連の流れで練習します。4. 当日のワークショップがスムーズに進行出来るよう、1ヶ月前を目処にZoomを活用したリモートで参加生徒対象の事前指導を行います。

タイムスケジュール（標準）
本番当日の午前中、舞台設営完了後の3時間目または4時間目を使って上記内容でワークショップを行います。昼食後の13時30分から本公演を開始します。

派遣者数
主指導者1名、歌手2名、ピアニストの4名体制。

学校における事前指導
事前のZOOMによるリモートで作品の概要説明と登場してもらう生徒達の役どころ、参加人数等を検討して頂きます。送付済みの資料動画と台本を使って練習をして頂ければ当日のリハーサルに一層効果的になると考えています。

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	特定非営利活動法人ミラマーレ・オペラ
公演団体名	ミラマーレ・オペラ

演目
オペラ「おこんじょうるり」 作曲：林光 台本：若林一郎 演出：三浦安浩 振付：三浦奈綾 公演時間：凡そ70分（休憩10分を含む）

派遣者数
出演者6名スタッフ10名。計16名

タイムスケジュール（標準）
8時学校到着。10時頃までに舞台設営完了。3時間目または4時間目などを利用して生徒が登場するシーンのリハーサル（ワークショップ）。13時30分～14時50分で本公演（途中休憩10分）。15時～17時撤収。清掃終了後17時30分頃退出。

実施校への協力依頼人員
生徒の入退場時の誘導はお願いいたします。観賞用の椅子を並べる作業をお手伝い頂く場合があります。搬入や搬出、公演中については特段協力依頼はございません。

演目解説

呼びかけと応え

このオペラにはなんと多くの「呼びかけ」があることでしょう。そしてそれに対する「答え」もまた数多くあります。

お腹をすかせた狐のおこんは山の中の一軒家へやってきて、その家に一人で住むばばさまの食べ物を盗もうとします。おこんは、目の見えないばばさまが「きつね」と自分の正体を言い当てるので驚きます。ばばさまは、おこんが不思議な力で腰痛を直してくれたことに感謝しておこんと手を取り合います。ばばさまは現実の世界を目で見ることはできませんが、それは物事の真実を見極められないということではありません。むしろ、彼女の「心」の判断力は研ぎ澄まされているのです。おこんとばばさまは親しみを込めて「ばばさま」「おこん」と呼び合い、そこには人間と動物というカテゴリーの違いを超えた愛が生まれます。

そこで、少し考えてみたいと思います。私たちは、誰にどのように呼びかけられ、そしてその呼びかけにどのように答えているのでしょうか。誰かの思いのこもった呼びかけに「不安」のフィルターをかけてしまい、その呼びかけの中にある愛を見過ごしていることはないでしょうか。そして「不安」や「憎悪」の思いで誰かの名前を呼んでいることはないでしょうか。呼びかけには力があるのです。国籍、人種、文化、宗教、性の違いが多くの対立を生んでいる現代、私たちはこの世の中にあるたくさんの切実な呼びかけに心を開かなければならないと思います。できるだけたくさんの愛のこもった呼びかけをしようではありませんか。そうすれば、私たちの心に、きっとおこんのような新しい仲間たちからの声が遠くから聞こえてくるに違いないと思うのです。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

1. ワークショップ時には身体全体を使った声の出し方のレクチャーを伴ったミニコンサートを行い、オペラ歌手の生の歌声を身近に感じてもらいます。
2. 子ぎつね役としての出演し、主役のおこんの活躍を助けたりします。村人役として登場し、ばばさまのまじないの効果に驚く人々の様子をセリフと動きで演じてもらいます。台詞は瓦版を読むスタイルなので、暗記の必要はありません。

児童生徒とのふれあい

1. 出演する生徒の登場シーンを中心に一緒にリハーサルを行います。
2. ワークショップ時のミニコンサートでは、歌った直後に感想を発表してもらいます。
3. 希望があれば終演後に生徒さんとキャストとの交流の時間を作り、質疑応答にもお応えします。